

第 I 部

ODA60周年—日本のODAの 成果とこれからの方向性

第 1 章	日本のODAが築いてきたもの	2
■第 1 節	日本のODAの軌跡	2
	1. 日本のODAのはじまり(50年代～60年代)	2
	2. 日本のODAの拡充と多様化(60年代～80年代)	3
	3. トップドナーとしての取組(90年代)	4
	4. 21世紀の新たな開発課題への対応(2000年代以降)	5
	(1)国際的な開発協力の潮流への貢献	5
	(2)多様な課題に向けた国際社会の具体的な取組への貢献	7
■第 2 節	60年でなし得たこと—日本のODAの成果	11
	1. 日本のODAの特色と成果	11
	(1)自助努力の後押し	11
	(2)持続的な経済成長	14
	(3)人間の安全保障	15
	2. 結び—日本のODAの成果と評価	17
第 2 章	これからの日本の開発協力	20

第II部

2013年度の 政府開発援助実績

第1章 実績から見た日本の政府開発援助	26
第2章 日本の政府開発援助の具体的取組	32
■第1節 課題別の取組	33
1. 貧困削減	33
(1)教育	33
(2)保健医療、人口	38
(3)水と衛生	44
(4)農業	48
(5)ジェンダー	52
(6)雇用、社会保障	58
2. 持続的成長	60
(1)経済社会基盤	60
(2)情報通信技術(ICT)	64
(3)貿易・投資、ODA以外の資金との連携	67
(4)政策立案・制度整備	71
(5)文化の保護・振興	72
3. 地球規模課題への取組	74
(1)環境・気候変動問題	74
(2)感染症	80
(3)食料・栄養	83
(4)資源・エネルギー（再生可能エネルギーを含む）	84
(5)防災協力と災害時の緊急援助	86
(6)国境を越える犯罪・テロ	93
4. 平和構築	96
(1)ミンダナオ和平	97
(2)アフガニスタンおよびパキスタン支援	98
(3)中東和平(パレスチナ)	102
(4)サヘル地域	104
(5)南スーダン	105
(6)不発弾および対人地雷・小型武器等	106

■ 第2節	地域別の取組	109
	1. 東アジア地域	110
	2. 南アジア地域	115
	3. 中央アジア・コーカサス地域	119
	4. 中東・北アフリカ地域	122
	5. サブサハラ・アフリカ地域	126
	6. 中南米地域	132
	7. 大洋州地域	137
	8. 欧州地域	141
■ 第3節	援助実施の原則の運用	143
■ 第4節	開発協力政策の立案および実施における取組	148
	1. 開発協力政策の立案および実施体制	148
	(1)一貫性のある開発協力政策の立案	148
	(2)政府と実施機関の連携	148
	(3)政策協議の強化	148
	(4)現地機能の強化	149
	(5)様々な担い手との連携	149
	2. 国民参加の拡大	163
	(1)国民の理解と支持の促進の重要性	163
	(2)青年海外協力隊・シニア海外ボランティアによる途上国支援への直接参加	163
	(3)NGOへの支援や活動への参加	164
	(4)ODAの現場体験	164
	(5)議論や対話の促進	164
	(6)開発分野における人材育成と研究	165
	(7)開発教育	165
	(8)広報・情報公開・情報発信の強化	165
	3. 戦略的・効果的な援助の実施のために必要な事項	167
	(1)戦略的な援助の実施	167
	(2)効果的な援助の実施	167
	(3)適正な手続きの確保	172
	(4)開発協力の関係者の安全確保	172

第 III 部

資料編

第 1 章 日本の政府開発援助予算	174
■ 第 1 節 2014 年度政府開発援助予算(当初予算)	174
図表 III-1 政府開発援助予算の内訳	174
図表 III-2 政府開発援助一般会計予算(政府全体)	174
図表 III-3 政府開発援助事業予算の内訳	175
図表 III-4 政府開発援助事業予算の区分ごとの内訳(政府全体)	175
図表 III-5 政府開発援助事業予算の財源と援助形態別歳出項目	176
■ 第 2 節 各省庁の事業予算(当初予算)と事業概要	177
図表 III-6 省庁別政府開発援助予算推移(一般会計予算)	177
図表 III-7 省庁別政府開発援助予算推移(事業予算)	177
図表 III-8 各省庁の事業予算(2014 年度事業予算)と事業概要	178
第 2 章 日本の政府開発援助実績	186
■ 第 1 節 開発途上国への資金の流れ	186
図表 III-9 日本から開発途上国への資金の流れ	186
■ 第 2 節 二国間政府開発援助の所得グループ別実績	187
図表 III-10 二国間政府開発援助の所得グループ別実績	187
図表 III-11 二国間政府開発援助と後発開発途上国(LDCs)向け 援助額および贈与額の比較	188
■ 第 3 節 国別実績	189
図表 III-12 二国間政府開発援助の国別・援助形態別内訳	189
図表 III-13 二国間政府開発援助の形態別 30 大供与相手国(2013 年)	194
図表 III-14 日本が最大の援助供与国となっている国一覧	196
図表 III-15 日本がこれまでに政府開発援助を供与したことのある国・地域一覧 (2013 年実績まで)	197
■ 第 4 節 分野別実績	198
図表 III-16 二国間政府開発援助分野別配分	198
■ 第 5 節 緊急援助実績	199
図表 III-17 緊急無償資金協力案件(2013 年度)	199
図表 III-18 国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣および 緊急援助物資供与案件(2013 年度)	199
図表 III-19 国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣および 緊急援助物資供与実績(2013 年度)	200

第3章 二国間援助案件リスト	201
■第1節 二国間贈与	201
図表III-20 無償資金協力案件一覧	201
■第2節 二国間借款	206
図表III-21 有償資金協力案件一覧	206
図表III-22 債務救済案件一覧	207
第4章 国際機関に対する政府開発援助実績	208
図表III-23 国際機関に対する政府開発援助実績の推移	208
図表III-24 主要国際機関に対する拠出・出資実績(上位5か国)	209
第5章 政府開発援助に関する主な資料	212
■第1節 日本の政府開発援助をめぐる動き(2013年10月～2014年10月)	212
■第2節 政府開発援助に関する政策	214
1. 開発協力大綱(2015年2月閣議決定)	214
2. 政府開発援助大綱(2003年8月閣議決定)	224
3. 政府開発援助に関する中期政策	230
4. 現行の分野別開発政策一覧	243
■第3節 重債務貧困国(HIPCs)一覧	245
(参考) 諸外国の政府開発援助	246
■第1節 DAC 諸国の政府開発援助実績	246
図表III-25 DAC 諸国の政府開発援助実績(2013年)	246
図表III-26 DAC 諸国の政府開発援助形態別内訳(2012年)	247
図表III-27 地域別実績における主要DAC援助国(2012年)	249
図表III-28 DAC 諸国の贈与比率	250
図表III-29 DAC 諸国の贈与額	250
図表III-30 DAC 諸国のグラント・エレメント	251
図表III-31 DAC 諸国の二国間政府開発援助のタイピング・ステータス	251
図表III-32 主要DAC加盟国の政府開発援助の比較	252
図表III-33 主要DAC加盟国の二国間政府開発援助の分野別配分(2012年)	252
図表III-34 主要DAC加盟国の政府開発援助総額に占める 国際機関を通じた援助額の割合	253
■第2節 DAC 諸国の開発途上国への資金の流れ	254
図表III-35 DAC 諸国の開発途上国への資金の流れ(2012年)	254
図表III-36 DAC 諸国のNGOによる援助実績	255
■第3節 DAC 援助受取国・地域リスト	256
図表III-37 DAC 援助受取国・地域リスト	256
■第4節 非DAC 諸国・地域の政府開発援助実績	257
図表III-38 非DAC 諸国・地域の政府開発援助実績	257

図表

第II部 2013年度の政府開発援助実績

図表II-1	2013年の日本の政府開発援助実績	27
図表II-2	日本の二国間政府開発援助実績の地域別配分の推移	28
図表II-3	主要DAC加盟国の政府開発援助実績の推移	29
図表II-4	DAC諸国における政府開発援助実績の国民1人当たりの負担額(2013年)	30
図表II-5	DAC諸国における政府開発援助実績の対国民総所得(GNI)比(2013年)	30
図表II-6	日本の政府開発援助実績の対国民総所得(GNI)比の推移	31
図表II-7	二国間政府開発援助の地域別実績(2013年)	109
図表II-8	東アジア地域における日本の援助実績	114
図表II-9	南アジア地域における日本の援助実績	117
図表II-10	中央アジア・コーカサス地域における日本の援助実績	120
図表II-11	中東・北アフリカ地域における日本の援助実績	125
図表II-12	サブサハラ・アフリカ地域における日本の援助実績	130
図表II-13	中南米地域における日本の援助実績	136
図表II-14	大洋州地域における日本の援助実績	139
図表II-15	欧州地域における日本の援助実績	142

(以下の注釈は第II部および第III部の図表で共通)

1. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。
2. 「0」は「1」に満たない実績を示す。
3. 「-」は実績がまったくないことを、「n.a.」はデータがないことを示す。
4. ()内の値は、特に指示がない限り、債務救済を含まない金額を示す。
5. ※は卒業国・地域、[]は地域名を示す。



宮崎県延岡星雲高校から支援された皆既日食グラスで、初めての皆既日食を楽しむケニアの子どもたちと青年海外協力隊(村落開発普及員)の荒殿美香さん(写真:荒殿美香)

国際協力の現場から

- | | | | |
|----|---------------------------------|---------------------------------|------|
| 1 | 学びの機会を逸した人たちにセカンドチャンスを | ～パキスタンで「ノンフォーマル教育」を推進～ | P37 |
| 2 | 安定的に水を供給する住民参加のダム造り | ～ケニア・マクエニ郡の砂ダム建設を草の根支援～ | P47 |
| 3 | 干物ビジネスで女性たちが立ち上がる | ～スリランカの漁村で貧困に苦しむ女性を支援～ | P56 |
| 4 | 将来を担う人材を育てる日本式経営やビジネス手法 | ～ミャンマー日本人材開発センタープロジェクト～ | P70 |
| 5 | アフリカの湿地を甦らせる日本の挑戦 | ～ウガンダで住民が期待する湿地管理プロジェクト～ | P79 |
| 6 | 5,000人の村人を水害から守った災害国・日本の防災技術 | ～インドネシア・天然ダム決壊と闘った日本人技術者たち～ | P90 |
| 7 | アフガニスタンの治安向上に日本の柔道の技と精神が貢献 | ～トルコにおけるアフガニスタン警察官訓練支援～ | P101 |
| 8 | クアラルンプールの水不足を解消する東南アジア最長の導水トンネル | ～日本のゼネコン技術が成功させたマレーシア山岳のトンネル掘削～ | P113 |
| 9 | 日本発のカイゼンの手法が品質と生産性向上を実現する | ～エチオピアの製造業を後押しするカイゼン普及プロジェクト～ | P131 |
| 10 | 日本のそろばんと島国の子どもたち | ～トンガで青年海外協力隊による珠算教育～ | P140 |
| 11 | 紛争が続く地で避難民の自立と地元住民との融和を支援 | ～アフリカ・スーダンでNGOが菜園づくり・井戸掘りに協力～ | P154 |



匠の技術、世界へー

- | | | | |
|---|--------------------------------------|-------------------------------------|------|
| 1 | 途上国の赤ちゃんを救う日本の中小企業の挑戦 | ～ベトナムで新生児の黄疸診断精度が向上～ | P40 |
| 2 | 雨水タンクによるソーシャルビジネスですべての人々に安全な水を届ける | ～水問題が深刻化するバングラデシュで雨水タンクの普及を推進～ | P46 |
| 3 | 独自の工法で交通渋滞を回避 | ～インドネシアの下水管路建設における技術革新を提案～ | P62 |
| 4 | ITを活用した情報配信システムで都市部の交通渋滞を緩和 | ～京都のベンチャー企業によるインド・グジャラート州での試み～ | P66 |
| 5 | 高温の炉の中がくっきり見える耐熱カメラがインドの経済発展と環境保護に貢献 | ～インド国営製鉄所・発電所で普及・実証事業～ | P118 |
| 6 | アフリカの環境改善に貢献する日本流リサイクル | ～石川県の中小企業がナイジェリアに環境配慮型の自動車リサイクルを導入～ | P158 |
| 7 | 火山周辺の荒廃地に緑を取り戻せ | ～インドネシアで産学協同による緑化再生の土づくり～ | P162 |

開発協カトピックス

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | ポスト2015年開発アジェンダと日本の取組 | P42 |
| 2 | 「女性の輝く社会」の実現に向けて | P54 |
| 3 | 防災国際協力（第3回国連防災世界会議） | P92 |
| 4 | 青年海外協力隊事業発足50周年－協力隊が紡ぎ出す大きな可能性 | P145 |
| 5 | 2014年版ODA評価年次報告書ハイライト～評価を通じたODAの改善を目指して～ | P170 |